

(1) 総合計画策定アンケート 自由記述欄のまとめ

■企業アンケート

設問:これからの一関市のまちづくりについて、ご意見やご提案がございましたら、自由にご記入下さい。

※自由記述欄の内容を後期基本計画に掲げる分野別項目により分類したもの。

分類番号	項目	①分類 件数	②分類 件数	合計
1-1	農林水産業			0
1-2	工業・中小企業	3		3
1-3	雇用・勤労者	1		1
1-4	商業	1	1	2
1-5	観光			0
1-6	まちづくり	3	2	5
1-7	一ノ関駅と中心市街地の戦略的活用	1		1
2-1	地域コミュニティ			0
2-2	地域福祉			0
2-3	子育て		2	2
2-4	防災			0
2-5	消防・救急・救助			0
2-6	防犯・交通安全・市民相談			0
2-7	医療	1		1
2-8	高齢者福祉			0
2-9	健康づくり			0
3-1	生涯学習			0
3-2	義務教育・高等学校教育・高等教育機関			0
3-3	青少年の健全育成			0
3-4	文化・芸術・スポーツ・レクリエーション			0
3-5	人権・男女共同参画	1		1
3-6	文化財の保護・地域文化の伝承			0
3-7	平泉文化関連資産「骨寺村荘園遺跡」の保護			0
4-1	都市間交流・国際交流			0
4-2	道路		2	2
4-3	公共交通			0
4-4	地域情報化			0
4-5	地域づくり活動		1	1
5-1	自然環境			0
5-2	森林			0
5-3	公園・都市緑化			0
5-4	低炭素社会	1		1
5-5	循環型社会			0
5-6	住環境・市営住宅・景観			0
5-7	上水道			0
5-8	下水道			0
6-1	震災からの復旧復興			0
6-2	放射線対策			0
99	その他		1	1
		12	9	21

■企業アンケート  
【ご意見・ご提案】

番号	分類①	分類②	ご意見、ご提案
1	1-2	1-6	ILCにより人材(財)がそちらに傾き、既存の会社に人が集まらなくなる事を懸念している。他の地域より、人が集まって来る魅力ある一関にして行く様にしたい。
2	1-2		市が中心となって、市内企業の見学会を行ってほしい。
3	1-2	99	市役所は既存の取引先にしか仕事を依頼しない、営業活動へ行っても「取引先(仕入先)は決まっているから、おたくへは依頼(見積依頼)しない」とハッキリ言われる。何の為に業者登録しているのか分からない。役所が閉鎖的だし、既存業者とベッタリなのでそんな態度でいいのかといつも憤りを感じる。一関市に税金を払うのがばからしい。ベッタリの業者からだけ税金を徴収しろ！
4	1-3	4-2	合併前から中心部と旧町村との格差が感じられる。働く職場が少なく高賃金で求人が有るにもかかわらず通勤時間がかかりすぎるとの理由から働きに出ていない事も有るのではないのでしょうか？地区内外で働くにしても道路を含めた交通インフラの充実ではないか？と考えます。以上が全てでは有りませんが考えるとところだと思えます。
5	1-4		一関市内の商店が活気づくような町づくりを望んでいます。そうすれば自然に人が集まって来ると思います。
6	1-6	4-2	質問が具体的ではなく、「これからどうしたらいいかわからない」ということだろうなと思って見ました。・道路・交通網が遅れている現状から、一関都市圏内の整備、仙台・盛岡との交通網の整備が優先と思う。・次に観光としては、巖美溪、狹鼻溪、平泉、須川～三陸道の通期待。・少子・高齢化に向けた対策、ILCに向けた対策etc.有るなかで、基本は経済の活性化に有り、ただ単に企業誘致を進めるのではなく、何が必要かをもちと考え、まちづくりを進めて欲しい。
7	1-6		ILCの誘致と地域が抱える問題点(高齢化、少子化、限界集落etc.)を関連付けて、構想することが望ましい。
8	1-6	2-3	一関は典型的な地方都市ではありませんが、交通インフラ(都市部との)、観光資源、強固な地盤の箇所が多いこと、農業地盤のまじめな人柄の文化(製造業の向く)など多くの強みを持っています。しかし、多くの市民がやや地域を自分達で盛り上げようという意識が低い(というか並レベル)ので市政行政や営利企業では手が回らない部分があるまま放置されているようになっている。少子化の中、これらの地域の隆盛は若い世代の獲得にかかっているところにも大きいと思う。子育て世代は、必然的にお金も沢山使うので経済面で見て地域にプラスになるのではないかと。若い世代が快適と感じ、更に低コストで生活のしやすい市域づくりを望みたい。川崎や大東などの、特に寂しい地区は市営バスを夜11:00に一関駅前から各所中心部に一便つつ走らせるとか、農村部と市内の夜のアクセスを良くするのも快適利便の向上になる。市内の空店舗などは家賃を一定条件で補助して若い人が運営できる低コストな店として活性化。農業の担い手の不足については外国人労働者を入れてもいいのでは？外国人の規律ある居住エリアがあればそこがまた人の集まる観光地にもなる。ブラジル街、韓国街、ベトナム街というような…。ま、いろいろ国政レベルの問題はあると思いますが、各部落には各々定期的な催しやボランティアで部落単位の特色を競ってもらえる様なコンテストなどで、地域への居住者の自助努力による積極的な参画を促す。これらは最終的な住民一人一人が地域に何が出来るか自分がやりがいを感じて参画していくことを目標とするもの、市役所に担当を開設するなどして、誘導、企画を地道にやっていくことが必要なのではと思う。繰り返しになるが、所得も低い若い子育て世代に手厚い援助を心がけていただくことが、長い目で見て、全ての面で地域の安全確保につながると思う。
9	1-7	1-4	駅前の活性化、観光客を迎える玄関、商店街の活性化を強く望みます。
10	2-7	1-6	岩手県としての一関市ではなく東北地方の一関市として、東北地方の中心地、仙台市とも連携をとっていただきたい。特に教育・医療においては、地域の基幹産業になる分野です。一関市の最大のメリットは、仙台・東京に最も近い距離にある事です。他の岩手県内の市町村が真似できない事です。行政区の枠組の中で「中東北の一関」は不可能です。もっと行政レベルで仙台市と交流して下さい。※古くは伊達藩の田村藩です。
11	3-5	2-3	特に女性が働きやすい環境にするために、育児、介護支援の充実を！
12	5-4	4-5	2040年には全国の自治体の半分以上が消滅するとの予測が出ています。その理由は人口問題です。これを市役所の職員全員が重く受け止める必要があるし、そして行動して行く必要があると思います。ではどうすれば良いか？幸い一関市には広大な山林等があります。エネルギーを国にまかせるのではなく、自分達で作る工夫をしてみても如何でしょう。市民エネルギー会社を作るとおもしろい展開ができそうな気がします。太陽光、風力、水力(省)、バイオマス等、地熱これらを複合させることができればと思います。